

第2号報告

2021年度事業計画

令和3年度は、臨床検査技師を取り巻く環境に大きな変革の波がやってくる年度となります。ひとつは働き方改革実行計画に基づき設置された医師の働き改革に関する検討会議において、医師の労働時間短縮に向けた取り組みがまとめられ、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が令和3年2月に閣議決定し国会に提出されました。法案が成立すれば、臨床検査技師へ移管される業務に対して、「臨床検査技師へのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会」を都道府県単位で実施することとなります。

もうひとつは、「臨床検査技師学校養成所指定規則」の一部を改正する省令が令和3年3月31日に公布されました。教育内容の見直しや臨地実習において必ず実施又は見学させる行為を明確に定めるなどの方向性が示され、「臨地実習指導者講習会」が開催される見込みとなっています。

京臨技においては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなかであっても、引き続きWeb活用した研修会の開催や第2回京都医学検査学会の開催など、積極的に学術事業を推進して参ります。また、京都府臨床検査技師会創立70年目を迎えることから70周年記念事業を進めて参ります。精度管理事業については、引き続き新型コロナウイルスの精度管理実施を検討するなど充実したものとなるように努めます。新入・転入研修会や施設連絡責任者会議など、会員向け事業にも力をいれていく所存です。

1. 衛生思想事業

1-1くらしと健康展

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を懸念し中止となりました。今年度も新型肺炎感染拡大防止の観点から中止が決定しております。

1-2京都府医療推進協議会主催イベント

新型コロナウイルス感染症のため2021年度の計画が定まっていますが、開催が決定した事業については社会公益活動の一環として協力を行います。

1-3子宮頸がん啓発活動LOVE49

子宮頸がんに関する啓発や、検診の受診率アップなどは大切なことと考えるため、今年度も啓発活動を継続できるようにしていきます。

1-4全国検査と健康展京都会場(日臨技公益委託事業)

毎年継続開催することで一般の方の間で臨床検査についての理解が深まっています。日臨技全国検査と健康展は我々京臨技にとっても重要な活動だと思います。今年度も創意工夫を凝らした企画にしたいと考えます。但し、昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止する可能性もあります。

1-5府・市民公開講座

毎年継続して京臨技市民公開講演会を行うことで、臨床検査技師の知名度や府市民の健康啓発の理解が深まっています。今年度も創意工夫を凝らしたテーマで企画したいと考えます。但し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止する可能性もあります。

1-6あやべ食育・すこやかフェスティバル

今年度、主催側より新型コロナウイルス感染拡大を懸念し不開催が決定いたしました。

1-7舞鶴市糖尿病講演会

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を懸念し中止になりました。今年度も開催未定ですが、開催された場合は、啓発活動はもちろんですが、超音波検査技術など我々が持つ検査技術や知識を用いて活動を行うことで臨床検査技師の知名度向上も期待できることから、今年度も企画したいと考えます。

2. 精度管理事業

2-1精度管理事業

地臨技の特色を生かし小回りの利く精度管理調査を実施します。また、JAMTQCでの精度管理調査が定着するように努力します。

2-2合同報告会

京臨技の主な事業として今年度も精度管理調査を実施し、参加施設のベースを引き上げ、レベルアップ、標準化を進めます。今後京都府医師会との精度管理事業合同開催も計画されているため、合同報告会も内容等検討していきます。

2-3京都府・京都市 京都衛生検査所精度管理専門家会議

今年度も京都衛生検査所精度管理専門家会議への参加、立入検査に同行し協力していきます。

3. 研究講習事業

3-1 学術研究班

コロナ完全収束のめどが立たない状況の中では、今年度の事業も予測不能な見通しとなります。しかし、Web研修会の事業が2年目を迎えることは、評価でき、新しいスタイルで今後も発展できると見込んでいます。京臨技会員方への教育・成長の一助になるよう、各研究班が年間の研修会を計画し、実施に向けて準備を進めていますので、専門外の研修会も気軽に参加していただければと思います。コロナ過が正常化する過程はまだ時間がかかりますが、学術事業の活性化が京臨技の発展を押し上げ、今後の事業につながると信じています。今年度もよろしく願いいたします。

A. 【生理検査研究班】

昨年度は、コロナ禍の影響により研修会開催方法について大きな変更が行われました。Web研修への変更により、子育て期の技師や遠方の方々にも気軽に参加が可能となり、お礼のメールを頂戴する程好評でした。今年度も引き続き、Web研修にて生理検査の基礎や知識を深めレベルアップできる内容や、昨年は中止となった超音波検査士取得に向けての、超音波基礎講習会も予定しております。ご参加頂いた方に、満足して頂ける内容になるよう開催します。今年度も多数のご参加をお待ちしております。

Web研修会 6回
 Web講演会 1回
 実技講習会 1回
 会場: 京都保健衛生専門学校など
 連絡先: 京都工場保健会 尾花 康子
 TEL: 075-823-0524

B. 【輸血検査研究班】

輸血検査研究班では、例年開催している実技講習会はコロナ禍のため、昨年度同様に開催が難しいと考えます。Webによる研修会や講演会を多く開催し、安全で適正な輸血療法を行うために必要な輸血検査の基礎知識から最新の知見や動向を取り入れた内容を企画します。また症例検討会では、日常遭遇する可能性がある異常反応や、疾患についての知識や考え方・検査の進め方に関して、実践的な知識を習得できるよう計画します。

Web研修会 5回
 Web講演会 1回
 会場: 京都保健衛生専門学校など
 連絡先: 京都南病院 日下部 昌平
 TEL: 075-313-1764
 mail: ancer-sho@hotmail.co.jp

C. 【臨床化学・血清検査研究班】

研修会は基礎から臨床に沿った最新情報など幅広い内容に取り組みます。臨床化学免疫血清検査以外に従事している技師も参加できる研修会を実施します。8月のサマー研修会はWebハイブリッド形式にて臨床化学の基礎、データ判読、トピックスを含めた幅広い内容にします。2月の実技研修会(みやこ研修会)では、用手法で分析の基礎を学べる研修会を予定していますがコロナの感染状況を鑑みながら開催の可否を決定します。

Web研修会 4回
 Web有料研修会 1回
 実技講習会 1回
 会場: 京都保健衛生専門学校など
 連絡先: 京都大学医学部附属病院 岡崎 一幸
 TEL: 075-751-3487
 mail: ikkoh@kuhp.kyoto-u.ac.jp

D. 【血液検査研究班】

血液検査研究班では血液疾患や血液学検査、凝固・線溶検査などを基礎から最新の話題まで幅広く学ぶことができる講演会や、講師・参加者全員で活発なディスカッションを行う症例検討会を企画いたします。また、血液形態学の基礎を学び、多くの症例を実際に観察できる実技講習会(鏡検実習)を企画いたします。

Web研修会 1回

Web講演会 2回
 実技講習会 1回
 会場:キャンパスプラザ京都、京都大学など
 連絡先:京都第二赤十字病院 田辺 祐也
 TEL:075-231-5171
 mail:yt.kyoto.ketsueki@gmail.com

E.【病理・細胞検査研究班】

新型コロナウイルスの感染対策を十分に行い、会場参加型のみの企画とせず、ハイブリッド型やWeb研修を積極的に取り入れ、病理・細胞検査に必要な知識や技術の習得、向上を目指し、研修会・講演会・実技講習会を企画します。病理・細胞検査の横断的な内容やマネジメントを含めた総合的な能力の習得、他府県やメーカーとも協力し、ゲノム医療関連を含む先進的な内容、新しい情報・知識・技術も取り入れられるような企画を考えます。後進の育成に役立つ内容や企画を考え、開催曜日や会場を厳選し、できるだけ多くの方が参加しやすいよう考慮し、活発な活動を行います。

Web研修会 3回 病理基礎研修会、細胞診基礎研修会など
 Web講演会 1回 病理、細胞診に関わる学術的な講演会
 実技講習会 1回 病理、細胞診技術に関する講習会
 会場:京都府立医科大学、京都保健衛生専門学校など
 連絡先:京都第一赤十字病院 久保 喜則
 TEL:075-561-1121
 mail:yoshinori-kubo@kyoto1-jrc.org

F.【一般検査研究班】

今年度も基礎講習会として一般検査に関する形態学を中心とした研修会を企画致します。他府県一般検査研究班とも連携し、形態に関する知識だけではなく、日常業務に役立つ有用な情報、最新の話題を提供していきます。

Web研修会 5回
 会場:京都保健衛生専門学校など
 連絡先:神戸朝日病院 藤井 宏哉
 TEL:078-612-5151
 mail:h.fujii.mt174@gmail.com

G.【微生物検査研究班】

世界的に問題となっている新型コロナウイルスだけでなく、AMRやASPに対応できるよう最新の情報を発信できる研修会や、感染症診断・治療に役立つよう臨床とのコラボレーション企画、医療関連感染対策、感染対策地域連携に貢献できるような幅広い知識を得られるような学術活動を目指します。京都府下から認定微生物検査技師をより多く輩出できるよう実践に即した研修内容にし、知識と技術を確実に習得できるWebでの研修会や実技講習会を行います。

Web研修会 3回
 Web講演会 2回
 実技講習会 1回
 会場:京都保健衛生専門学校など
 連絡先:京都府立医科大学附属病院 山田 幸司
 TEL:075-251-5654
 mail:poohsan@koto.kpu-m.ac.jp

H.【情報システム研究班】

昨今の臨床検査業務は、検査の技術を磨くだけではなく、病院情報システムや検査情報システムにて制御され高度にシステム化された業務内容が多くを占めるようになってきました。情報システム研究班では、そのようなシステム化された業務を遂行するために必要な知識を身に付けることを目標とした研修会を企画します。

Web講演会 1回
 会場:京都保健衛生専門学校など
 連絡先:京都大学医学部附属病院 増田 健太
 TEL:075-751-3484
 mail:sherlock@kuhp.kyoto-u.ac.jp

I.【遺伝子検査研究班】

昨年度は新型コロナウイルスPCR検査の需要拡大により、多くの施設でPCR検査の導入が行われました。それに伴い、PCR検査の基礎や注意点に関するWeb研修会を行ってきました。今年度は、基礎的な研修会はもちろん、より実践的な内容を企画・開催したいと思います。また、今後増していくであろう遺伝子検査の需要に対応できるよう情報提供を行っていきます。

Web研修会 2回

Web講演会 1回
 会場:京都保健衛生専門学校など
 連絡先:京都第一赤十字病院 白井 洋紀
 TEL:075-561-1121
 mail:hiroki-shirai@kyoto1-jrc.org

J.【北部検査研究班】

昨年度は、世界的なコロナウイルス蔓延により研修会開催も危ぶまれましたが、Webによる開催を実施することにより、いつもより多くの方々に参加して頂けました。今年度はその経験を活かし、初級者向けの研修会を多く開催して行きたい思います。また、実技講習会も企画したいと考えています。皆様に満足していただけるような企画を考えてまいりますので、ご参加の程よろしくお願いたします。

Web研修会 4回
 Web講演会 1回
 実技講習会 1回
 会場:綾部ITビルなど
 連絡先:丹後中央病院 園田 真之
 TEL:0772-62-7783
 mail:ec22s56@outlook.jp

K.【南部研究班】

昨年度は、南部独自の生理検査研究班と奈良県技師会との合同研修会がコロナ禍のため開催できませんでしたが、今年度はWeb研修会を中心に活動していきます。生理検査・検体検査分野における基礎的な知識の習得および最新の話題や興味ある内容で研修会を企画いたします。京都府南部の施設に勤務されている方の情報共有の場になるような活動を行うとともに、Web研修会の利点を生かして南部地区以外の方の参加も歓迎いたします。

Web研修会 3回
 会場:京都山城総合医療センター、宇治徳洲会病院など
 連絡先:田辺中央病院 馬場 昭好
 TEL:0774-63-1111

L.【チーム医療研究班】

医療人としての総合力を向上させ、チーム医療の一員として存在感を示せる臨床検査技師を目指します。検査データから病態を読み解く研修会や、感染対策・医療安全・救急室業務に関する研修会、他職種から学ぶ研修会など、専門分野や職種の垣根を超えて幅広く学び、知識と技術を向上させる研修会を企画していきます。

Web研修会 4回
 実技講習会 1回
 会場:京都保健衛生専門学校 など
 連絡先:京都大学医学部附属病院 齊藤 祐巳子
 TEL:075-751-3492

4. 広報事業

4-1会誌

会誌 2021.Vol.48「令和3年度総会号」(令和3年8月1日発行予定)

また、70周年に向けて特別号の発行を計画しています。

4-2会報(ニュースレター)

年3回発行を予定しています。

4-3ホームページ

学会・研修会情報や求人情報をタイムリーに更新し、昨年度に引き続き迅速に情報提供します。

情報提供の手段であるホームページを年度初頭にリニューアルし、スマートフォンでも閲覧しやすいレスポンスデザインを採用します。また、研修会参加を申し込みしやすい仕組みと、研修会会場での会員証提示を簡便に行えるデジタル会員証の仕組みを導入して、会員への便宜をはかります。デジタル会員証の仕組みによって、紙の会員証を印刷・郵送する費用を抑えることも可能となります。

また、お問合せフォームからの問い合わせに対して、担当理事から迅速に回答します。

4-4メールマガジン

ほぼ毎週発行を予定しています。

5. 会員向け啓発事業

5-1定時総会

新型コロナウイルス感染症の感染対策を行ったうえで、京臨技定款に沿って、今年度も定時総会を開催します。

5-2第2回京都医学検査学会

臨床検査の発展や研究発表を行うこと、技師間の情報交換・初級者の育成企画などを通じて職能団体の資質の向上、発展に寄与することを目的として開催します。令和4年2月23日(火・祝) 第2回京都医学検査学会の参加よろしくお祈いします。

5-3新入・転入会員研修会

例年恒例の新入転入会員を迎えて、日臨技の組織・運営説明を白波瀬会長から、京臨技の組織・運営を今川副会長から報告いただきます。さらに昨年度からの企画である、各研究班から「日直当直時に知っておくと役立つ知識」の講演をいただきます。これらは共にこれから経験を重ねてゆく臨床検査技師として、知っておくべき事柄であり、必ず有用になるであろう内容ばかりです。昨年同様Webと会場のハイブリットでの開催で行う予定ですので、遠方からも気軽に参加頂ける研修会といたします。

5-4京臨技北部学術発表会

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を懸念し開催中止を致しました。今年度Webを駆使し毎年同様、若手育成を目的に開催していきたいと考えます。

5-5施設連絡責任者会議

今年度も、技師会の活動報告とその時々の医療情報を話題に取り上げ、施設連絡責任者の方々と情報交換ができる貴重な機会となるよう企画します。

5-6京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同研修会

今年度は、Web形式で今まで以上に魅力あるテーマを推進しながら、技師と医師で共有できる貴重な時間となるよう開催に向けて努めてまいります。

5-7京都病院学会

京都の医療を支える活動の一環として、また他部門の業務を理解する貴重な行事として、今年度も京臨技より参加・協力していきたいと考えます。

5-8地域ニューリーダー育成研修会

リーダーシップを図るために何が必要か？昨年度開催できなかった目標設定からプレゼンテーションまでグループワークを交えながら研修企画を計画しています。今回は、オンライン開催も見据えた環境を準備したいと思います。

6. 共催・後援・協力事業

昨年度同様に共催・後援・協力事業共に会員利益を前提に積極的に取り組みます。

7. 総務事業

会の組織力を強化するために会員数の増加を目指します。そのために研究講習事業をバックアップする目的もあり、Web関連の備品を調達し研修会のバックアップを行います。引き続き会計処理については外部委託し、法人の公益性を追求、公益目的支出計画に準じた会計処理を継続します。また、会員証の発行に伴う経費削減を目的に、デジタル会員証への移行を進めます。HPのリニューアルを行い会員への利便性を高めます。